



スクリプト

クライアントサイド・スクリプト

ユーザーのPC上で実行されるプログラム。JavaScript、JScript、VBScriptなど

サーバーサイド・スクリプト

サーバーに用意されたプログラムで実行。CGI、PHP、JAVAなど

スクリプト言語の指定

```
<meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript" />
```

- スクリプトを利用するには、上記のmeta要素を指定する。

script（スクリプトの指定）

タグ記述

開始タグ：<script>

終了タグ：</script>

属性

【type="MIMEタイプ"】 スクリプトのMIMEタイプ指定。必須属性。

【src="URI"】 外部スクリプトの指定。XHTML内にスクリプトを書かずに、外部ファイルから読み込む場合に使用。

【charset="文字コードセット"】 文字コードの指定。UTF-8、Shift_JIS、EUC-JPなど

【defer="defer"】 文書生成スクリプトを生成しない。

【xml:space="preserve"】 空白文字の保持。

コメント化

XHTMLでは「<、>、&」などはエスケープしないと使用できない。この問題を避けるためにコメント化を行う。

開始： // <![CDATA[

終了： //]]>

以下がスクリプト要素を使用したコメント化の例

```
<script type="text/javascript">
// <![CDATA[
    document.write("テキスト");
// ]]>
</script>
```

外部ファイルの指定

```
<script type="text/javascript" src="./test.js">
</script>
```

JavaScriptファイルの拡張子は、「.js」。

noscript（スクリプトの代替 ブロック要素）

スクリプト非対応環境のために、noscript要素で代替内容を指定する。必須。

直下の子要素は、ブロック要素のみ。以下が例。

```
<script type="text/javascript">
// <![CDATA[
    document.write("テキスト");
// ]]>
</script>
<noscript>
    <p>JavaScriptは使用できない状態です。</p>
</noscript>
```

イベント属性

スクリプトと別の要素を連携させたり、要素にスクリプトを組み込むために利用する。

記述方法

イベント属性="スクリプトの内容"

- **onload**
ウィンドウが読み込まれた後に発生するイベント
指定可能要素：body
- **onunload**
ウィンドウから他の文書へ移動する時に発生するイベント
指定可能要素：body
- **onclick**
要素の範囲上でマウスをクリックした時に発生するイベント
指定可能要素：ほぼすべての要素
- **ondblclick**
要素の範囲上でマウスをダブルクリックした時に発生するイベント
指定可能要素：ほぼすべての要素
- **onmousedown**
要素の範囲上でマウスのボタンが押し下げられている時に発生するイベント
指定可能要素：ほぼすべての要素
- **onmouseup**
要素の範囲上でマウスのボタンが放された時に発生するイベント
指定可能要素：ほぼすべての要素
- **onmouseover**
要素の範囲上でマウスのポイントが重なった時に発生するイベント
指定可能要素：ほぼすべての要素
- **onmousemove**
要素の範囲上でマウスのポイントが動いた時に発生するイベント
指定可能要素：ほぼすべての要素
- **onmouseout**
要素の範囲上からマウスのポイントが離れた時に発生するイベント
指定可能要素：ほぼすべての要素

- onfocus

要素がマウスのポイントやTabキー、ショートカットキーによってフォーカスを受けた時に発生するイベント

指定可能要素：a、area、button、input、label、select、textarea

- onblur

要素がマウスのポイントやTabキー、ショートカットキーによってフォーカスを失った時に発生するイベント

指定可能要素：a、area、button、input、label、select、textarea

- onkeypress

要素の範囲上で何かキーが押された時に発生するイベント

指定可能要素：ほぼすべての要素

- onkeydown

要素の範囲上で何かキーが押し下げられている時に発生するイベント

指定可能要素：ほぼすべての要素

- onkeyup

要素の範囲上で何かキーが押された後、放された時に発生するイベント

指定可能要素：ほぼすべての要素

- onsubmit

フォームの範囲上で内容が送信された時に発生するイベント

指定可能要素：form

- onreset

フォームの範囲上で内容がリセットされた時に発生するイベント

指定可能要素：form

- onselect

テキストフィールドやテキストエリア内のテキストが選択された時に発生するイベント

指定可能要素：input、textarea

- onchange

フォームコントロール内容が変更された後、フォーカスを失った時に発生するイベント。

指定可能要素：input、select、textarea

JavaScript その1

英数以外の文字（空白・記号含む）は必ず「"」で囲う。スクリプトの最後は「;」。

スクリプトは全て欧文で書かなければならない。

変数名・関数名は、大文字小文字区別される。一文字目はローマ字で始めなければならない。空白・記号は使ってはいけない。

コメント

```
//一行                      /*複数行*/
```

変数

```
var 変数名 = 値;   もしくは 変数名 = 値; (ローカル変数)
```

```
g変数名 = 値; (グローバル変数)
```

文字の表示

```
document.write ( 文字 );
```

文字列の連結

```
文字列 + 文字列;   もしくは、変数 + 文字列;
```

サブウィンドウを開く

```
window.open ( "開くファイル", "ウィンドウ名", "サイズ(width=xxx, height=xxx)" );
```

警告文

```
alert ( 文字 );
```

ページのURIを変更

```
location.href = "変更するURI";
```

ページのリロード

```
location.reload();
```

関数

```
function 関数名 {  
    }  
}
```